

教宣 せぶん

株主総会総行動4日目

その時間の過ごし方

移動日に位置づけられた4日目でしたが、東京金融共闘主催のボーリング大会があり、会場となる高田馬場駅前で、ボーリング大会参加者を中心に街頭宣伝を行いました。およそ1時間、マイクを握り、道行く人にビラを手渡しました。他支部の仲間や地協関係者、金融3争議を共にたたかう仲間が応援に駆けつけてくれました。

学生が多いこの街では、かつての大学生の就職人気企業ランキングのトップに位置づけられたこともあり、今でも人気が高い損害保険のリーディングカンパニーの不祥事を訴えるこの街宣行動に、積極的にビラを求める学生の姿がありました。この日配ったビラは、この総行動が始まって以来作られた、色が異なる3枚のビラでしたが、「色が違う3枚のビラにはすべて違うことが書かれています」と伝えられると、3枚すべてのビラを受け取る方もいらっしゃいました。また、遠くからマイクを通して聞こえてくる私たちの訴えに、関心を持って真剣に耳を傾けている年配の方の姿もありました。おそらく私たちの痛みを理解していただける方だったと思います。

ボーリング大会終了後の懇親会で、80名近い参加者を前に、金融3争議をたたかう当事者の訴える時間をいただきました。乾杯が始まった後の、ざわついて仕方がない時間帯で、実際にそういう雰囲気になりましたが、当事者である私たちはこの時間を、真剣に訴え、全員が「背筋を伸ばして」過ごしました。当たり前ですが、いま迎えている局面の緊迫さを全員が理解し、行ってきた運動の「重さ」「厳しさ」がこの時間の過ごし方にあらわれていると感じました。

駅前の街宣で真剣に私たちの話を聞かれていた方がいましたが、同じような経験を持っていたり、その痛みを理解できたりする方の「その時間の過ごし方」は異なります。株主総会に向けて、準備が整っていると感じた瞬間でした。